

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: スケルトンM-201 金属ハケ用

SDS No.RS_201_240325_J-1

製品コード: RS-201

製品種類:

剥離剤

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 金属一般用

使用上の制限: 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: ナトコ株式会社

住所: 〒470-0213 愛知県みよし市打越町生賀山18

担当部署: 技術管理部 品質管理グループ

電話番号: 0561-32-2285

FAX: 0561-32-9506

e-mail address: hinpo@natoco.co.jp

緊急連絡先電話: 0561-32-9629

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(吸入): 区分 4

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2

発がん性: 区分 1B

生殖毒性: 区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

H302 吸入すると有害

H315 皮膚刺激

- H319 強い眼刺激
- H350 発がんのおそれ
- H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- H370 臓器の障害
- H371 臓器の障害のおそれ
- H336 眠気又はめまいのおそれ
- H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
- H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
- H402 水生生物に有害
- H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- P280 保護手袋を着用すること。
- P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P280 指定された個人用保護具を使用すること。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- P321 特別な処置が必要である。
- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
- P304 + P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P302 + P352 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P305 + P351 + P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337 + P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

- P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P405 施錠して保管すること。

廃棄

- P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
ジクロロメタン	75-09-2	85 - 90	2-36
メタノール	67-56-1	5 - 10	2-201
アンモニア水	1336-21-6	0.1 - 1	1-314
固形パラフィン	8002-74-2	0.1 - 1	-
プロピレングリコール	57-55-6	0.1 - 1	2-234
水酸化カリウム	1310-58-3	0.1 - 1	1-369

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

ジクロロメタン, メタノール, アンモニア水

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

ジクロロメタン, メタノール, アンモニア水

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

ジクロロメタン

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。

医師の手当、診断を受けること。

被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

適切な保護具を着用する。

密閉された場所に入る前に換気する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って容器に移す。

清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。

二次災害の防止策

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避データなし

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。
- 子供の手の届かないところに保管すること。
- 日光の直射を避ける。通風のよいところに保管すること。
- 漏れ、あふれ、飛散しないように必要な措置を講ずること。
- 高温多湿を避けて保管すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度及び濃度基準値

(ジクロロメタン)

作業環境評価基準 50ppm

(メタノール)

作業環境評価基準 200ppm

許容濃度

(ジクロロメタン)

日本産衛学会(1999) 50ppm; 170mg/m³; (最大許容濃度) 100ppm; 347mg/m³ (皮)

(メタノール)

日本産衛学会(1963) 200ppm; 260mg/m³

(水酸化カリウム)

日本産衛学会(1978) (最大許容濃度) 2mg/m³

(ジクロロメタン)

ACGIH(1999) TWA: 50ppm (一酸化炭素ヘモグロビン血症; 中枢神経系障害)

(メタノール)

ACGIH(2009) TWA: 200ppm;

STEL: 250ppm (頭痛; 眼損傷; めまい; 吐き気)

(アンモニア水)

ACGIH(1976) TWA: 25ppm;

STEL: 35ppm (眼損傷、上気道刺激)

(固形パラフィン)

ACGIH(1987) TWA: 2mg/m³ (上気道刺激; 吐き気)

(水酸化カリウム)

ACGIH(1992) STEL: 上限値 2mg/m³ (上気道, 眼及び皮膚刺激)

[ACGIH] 特記事項

(メタノール)

皮膚吸収

ばく露防止

保護具

眼の保護具

取扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：僅かに着色

臭い：溶剤臭

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点：40°C

沸点範囲：40 から60°C

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：

爆発下限：15.5vol %

爆発上限：66vol %

引火点：燃焼しない

自然発火点：662°C

分解温度データなし

pH：10～11

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：微溶

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度(比重):1.23

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

非常に揮発しやすいので容器が膨張することがある。長期間経過すると容器が腐食して、穴が開き漏れる恐れがあるため、湿度の低い冷暗所で保管し、6ヶ月以内に使い切ること。

化学的安定性

化学的安定性データなし

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

マグネシウムなどの軽金属、強塩基、硝酸

危険有害な分解生成物

高温面や炎に接触すると塩化水素が発生。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

rat LD50=2280mg/kg(male), 2120mg/kg(male) (EHC 164, 1996)

(メタノール)

human LD50=ca. 1400mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

(アンモニア水)

rat LD50=350mg/kg (SIDS, 2008)

(プロピレングリコール)

rat LD50=8000-46000mg/kg (EPA Pesticide, 2006)

(水酸化カリウム)

rat LD50=273mg/kg (SIDS, 2004)

急性毒性(経皮)

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

rabbit LD50=15800mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

(プロピレングリコール)

rabbit LD50=20800 mg/kg (SIDS, 2004)

急性毒性(吸入)

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

vapor:rat LC50=18371ppm/4hr(雄, 換算値) (EHC 164, 1996; NITE初期リスク評価書, 2005); <飽和蒸気圧濃度 (574109ppm (25°C))の90%

(メタノール)

vapor:rat LC50>31500ppm/4hr (DFGOT vol.16, 2001)

労働基準法: 疾病化学物質

ジクロロメタン; メタノール; アンモニア水; 水酸化カリウム

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

ラビット 強度又は中等度の刺激性 (DFGOT vol. 1, 2016, Access on May 2017; NITE初期リスク評価書, 2005)

(アンモニア水)

ラビット 腐食性 (SIDS, 2008)

(水酸化カリウム)

ラビット/ヒト 腐食性 (SIDS, 2004; ECETOC TR66, 1995; 産衛学会許容濃度の提案理由書, 1978; PATTY 6th, 2012)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

ラビット 軽度から中等度の炎症, 中等度の刺激性 (いずれもDFGOT vol. 1, 2016, Access on May 2017)

(メタノール)

ラビット 区分2: Draize test (EHC 196, 1997)

(アンモニア水)

腐食性 (SIDS, 2008)

(固形パラフィン)

ラビット Draize test: 軽度の刺激性 (IUCLID, 2000 et al)

(水酸化カリウム)

ラビット 腐食性 (SIDS, 2004; 産衛学会許容濃度の提案理由書, 1978; PATTY 6th, 2012)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし

皮膚感作性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

ジクロロメタン

発がん性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

cat.1B; IARC Gr.2A (IARC 110, 2016); NTP R (NTP RoC, 14th, 2016); EPA L (IRIS, 2011)

[IARC]

(ジクロロメタン)

Group 2A : ヒトに対しておそらく発がん性がある

[ACGIH]

(ジクロロメタン)

A3(1999) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

[日本産衛学会]

(ジクロロメタン)

第2群A: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

[EU]

(ジクロロメタン)

Category 2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質

労働基準法 : がん原性化学物質

ジクロロメタン; 固形パラフィン

生殖毒性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

cat. 2; ヒト 産衛学会許容濃度の提案理由書, 2005; SIAP, 2011; NITE初期リスク評価書, 2005; DFGOT vol. 1, 2016, Access on May 2017; ACGIH 7th, 2015; 環境省リスク評価第3巻, 2004

(メタノール)

cat. 1B; mouse : PATTY 5th, 2001

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

中枢神経系、呼吸器 (NITE初期リスク評価書, 2005; EHC 164, 1996)

(メタノール)

中枢神経系、視覚器、全身毒性 (DFGOT vol.16, 2001)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(固形パラフィン)

気道刺激性 (PATTY 5th, 2001)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

麻酔作用 (NITE初期リスク評価書, 2005; EHC 164, 1996)

(メタノール)

麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)

(プロピレングリコール)

麻酔作用 (ATSDR addendum, 2008; SIDS, 2004)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

生殖器(男性)、肝臓、中枢神経系 (NITE初期リスク評価書, 2005; EHC 164, 1996; 環境省リスク評価第3巻, 2004; 産衛学会許容濃度の提案理由書, 1999)

(メタノール)

中枢神経系、視覚器 (ACGIH 7th, 2001)

誤えん有害性

[製品データ]

データなし
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(水酸化カリウム)
cat. 1; ACGIH 7th, 2001; SIDS, 2004

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品データ]

データなし

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

甲殻類(オオミジンコ) LC50=27mg/L/48hr (Canada PSAR, 1993; OECD SIDS, 2011)

(メタノール)

甲殻類(ブラインシュリンプ) LC50=900.73mg/L/24hr (EHC196, 1998)

(アンモニア水)

魚類(ニジマス) LC50=26.8mg/L/96hr (水酸化アンモニウム換算値。被験物質: NH₄Cl, pH: 8.29)

(Thurston et al., 1981)

(プロピレングリコール)

甲殻類(オオミジンコ) EC50(遊泳阻害)>1000mg/L/48hr (環境省生態影響試験, 2018)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(アンモニア水)

甲殻類(ミシッドシュリンプ) NOEC=7.1mg/L/32days (水酸化アンモニウム換算値。被験物質: NH₄Cl, pH: 7.92-8.01) (SIDS, 2007)

(プロピレングリコール)

甲殻類(オオミジンコ) NOEC(繁殖阻害)=1000mg/L/21days (環境省生態影響試験, 2018)

水溶解度

(ジクロロメタン)

1.3 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2017)

(メタノール)

100 g/100 ml (PHYSROP_DB, 2009)

(アンモニア水)

混和する (ICSC, 1995)

(固形パラフィン)

溶けない (ICSC, 2003)

(プロピレングリコール)

混和する (ICSC, 2014)

(水酸化カリウム)

110 g/100 ml (25°C) (ICSC, 2010)

残留性・分解性

[成分データ]

(ジクロロメタン)

急速分解性なし (BODによる平均分解度: 13% (化審法DB, 1986))

(アンモニア水)

急速分解性あり(水生環境中で速やかに硝化される(SIDS, 2007))

(プロピレングリコール)

急速分解性あり(BODによる分解度:90%(化審法DB:1991))

生体蓄積性

[成分データ]

(ジクロロメタン)

log Pow=1.25 (ICSC, 2017); BCF=40 (Check & Review, Japan)

(メタノール)

log Pow=-0.82/-0.66 (ICSC, 2000)

(アンモニア水)

log Kow=-2.66 (PhysProp Database)

(プロピレングリコール)

log Pow=-0.92 (ICSC, 2014)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：2810

正式輸送名：

その他の毒物、液体、有機物、N.O.S.

分類または区分：6.1

容器等級：III

指針番号：153

特別規定番号：223; 274

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号：2810

正式輸送名：

その他の毒物、液体、有機物、N.O.S.

分類または区分：6.1

容器等級：III

特別規定番号：223; 274

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号：2810

正式輸送名：

その他の毒物、液体、有機物、N.O.S.

分類または区分：6.1

危険性ラベル：Toxic

容器等級：III

特別規定番号：A3; A4; A137

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類)

アンモニア水; ジクロロメタン; 水酸化カリウム; メタノール

有害でない物質(OS類)

プロピレングリコール

MARPOL条約付属書V - HME(海洋環境に有害)

発がん性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

ジクロロメタン

生殖毒性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

メタノール

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質

ジクロロメタン; メタノール

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

毒物類 毒物 分類6 区分6.1

航空法

毒物類 毒物 分類6 区分6.1

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等

ジクロロメタン

有機則 第2種有機溶剤等

含有有機溶剤

メタノール

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

ジクロロメタン(別表第9の257); メタノール(別表第9の560); アンモニア水(別表第9の39)

名称通知危険/有害物

ジクロロメタン(別表第9の257); メタノール(別表第9の560); アンモニア水(別表第9の39)

健康障害防止指針公表物質(法第28条第3項)

ジクロロメタン

皮膚等障害化学物質(規則第594条の2)

メタノール

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

ジクロロメタン(別名塩化メチレン)(86%)

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

プロピレングリコール(通し番号106 人健康影響)

悪臭防止法

アンモニア水

政令番号1: 敷地境界線許容限度 1.0 - 5.0 ppm

大気汚染防止法

有害大気汚染物質/優先取組

ジクロロメタン(中環審第9次答申の85)

特定物質 政令第10条第1号から第28号

メタノール(政令第10条第6号)

アンモニア水(政令第10条第1号)

廃棄物処理法

特別管理産業廃棄物: 特定有害産業廃棄物

ジクロロメタン

法令番号11: 埋立処分判定基準 $\leq 0.2\text{mg/liter}$

土壌汚染対策法

第一種特定有害物質 揮発性有機化合物

ジクロロメタン

政令番号12:

溶出量 $\leq 0.02\text{ mg/liter}$ 第二溶出量 $\leq 0.2\text{ mg/liter}$ 地下水 $\leq 0.02\text{ mg/liter}$ 土壌環境 $\leq 0.02\text{ mg/liter}$

水質汚濁防止法

有害物質

ジクロロメタン

法令番号 11: 0.2mg/liter

アンモニア水

法令番号 26: $100\text{mg}-(\text{アンモニア性窒素} \times 0.4 + \text{亜硝酸性窒素} + \text{硝酸性窒素})/\text{liter}$

指定物質

水酸化カリウム

法令番号 8

適用法規情報

「がん原性がある物(規則第577条の2第5項)」「皮膚等障害化学物質(規則第594条の2)」の項目が記載されない場合は、それぞれの規則には該当しない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)

IATA 航空危険物規則書 第65版(2024年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2023 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

JIS Z7253 では「濃度又は濃度範囲を記載」することとなっており、重量パーセントの記載が原則となりますが、製品の特性上、含有量に幅が生じる場合、または「成分及び含有量」が営業上の秘密に該当する場合については、濃度範囲による記載をしております。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によ

て改訂される事があります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。